

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 746 号	氏名	山本 直子
学位審査委員	主 査 高村 昇 副 査 森内 浩幸 副 査 小澤 寛樹		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、社会的にも関心の高い産後うつに着目し、出産後の母親の精神的健康度に影響を及ぼす要因を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 長崎市内の保健センターにて4か月健康診査を受けた児を持つ女性に質問紙調査を行い、母親の年齢、身長、体重、在胎週数、出産経験、分娩様式、婚姻状況、妊娠の計画性、栄養方法、食事の規則性、食欲、外出頻度、経済状況、ストレスの多いライフイベント経験の有無、うつ病歴の聴取に加え、General Health Questionnaire (GHQ12)を用いた精神的健康度を評価したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、多変量解析において母親における精神的健康度不良は高年齢、不規則な食生活、うつ病歴と有意に関連しており、経済的困窮とボーダーラインの関連を認めた。これらの結果は専門家が産後女性の精神的健康不良を同定し、産後うつを予防するための早期介入の一助となるものであり、解析・考察についても妥当であると考えられる。</p> <p>以上のように本論文は産後うつの関連要因解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			